

Ⅲ. 第1次中期経営計画

(2024～2026年度)

単位:万台

	23年度		24年度		25年度		26年度		
	実績	前年比	計画	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	23比
日 本	860	106%	885	103%	925	105%	923	100%	107%
北 米	1,607	107%	1,600	100%	1,670	104%	1,670	100%	104%
欧 州	1,320	107%	1,340	102%	1,360	101%	1,370	101%	104%
中 国	3,050	114%	3,050	100%	3,060	100%	3,070	100%	101%
ASEAN	415	93%	420	101%	450	107%	470	104%	113%
イ ン ド	595	106%	625	105%	670	107%	710	106%	119%
南 米	288	104%	300	104%	310	103%	320	103%	111%
そ の 他	639	105%	644	101%	655	102%	667	102%	104%
世 界 合 計	8,773	108%	8,865	101%	9,100	103%	9,200	101%	105%

(単位 金額:億円、率:%)

		23年度 実績	24年度 計画	25年度 見通し	26年度 見通し	23比 (為替影響前)		摘 要
							指数	
小 糸 製 作 所		3,412	3,450	3,670	3,730	317	109	・国内生産台数107%
国 内 関 係 会 社		2,226	2,254	2,370	2,455	228	110	
	米 州	2,943	3,202	3,250	3,395	454	115	・生産台数105%
	中 国	889	843	855	970	89	110	・生産台数101%
	ア ジ ア	1,573	1,521	1,630	1,730	200	113	・生産台数112%
	欧 州	490	357	320	330	△150	69	・生産台数104%
海 外 関 係 会 社		5,897	5,923	6,055	6,425	594	110	・海外生産台数105%
消 去		△2,034	△2,067	△2,095	△2,110	△75		
連 結		9,502	9,560	10,000	10,500	1,064	111	・世界生産台数105%

連結業績見通し(23年度 vs 26年度)



(単位 金額:億円、率:%)

		23年度実績		26年度見通し		比較		為替影響前	
小糸製作所	売上高	3,412		3,730		317	109.3	317	109.3
	営業利益	183	5.4	250	6.7	66	135.9	66	135.9
国内関係会社	売上高	2,226		2,455		228	110.2	228	110.2
	営業利益	88	4.0	100	4.1	11	112.4	11	112.4
海外関係会社	米 州	2,943		3,395		451	115.3	454	115.4
	営業利益	24	0.8	170	5.0	145	688.7	145	689.6
	中 国	889		970		80	109.0	89	110.1
	営業利益	△5	—	50	5.2	55	—	55	—
	アジア	1,573		1,730		156	109.9	200	112.8
	営業利益	151	9.6	175	10.1	23	115.6	28	118.7
	欧 州	490		330		△160	67.3	△150	69.4
	営業利益	13	2.8	△5	—	△18	—	△18	—
海外関係会社	売上高	5,897		6,425		527	108.9	594	110.1
	営業利益	184	3.1	390	6.1	205	211.7	211	214.6
消 去	売上高	△2,034		△2,110		△75	—	△75	—
	営業利益	102	—	95	—	△7	—	△7	—
連結合計	売上高	9,502		10,500		997	110.5	1,064	111.2
	営業利益	559	5.9	835	8.0	275	149.1	280	150.1

(為替レート)

米ドル

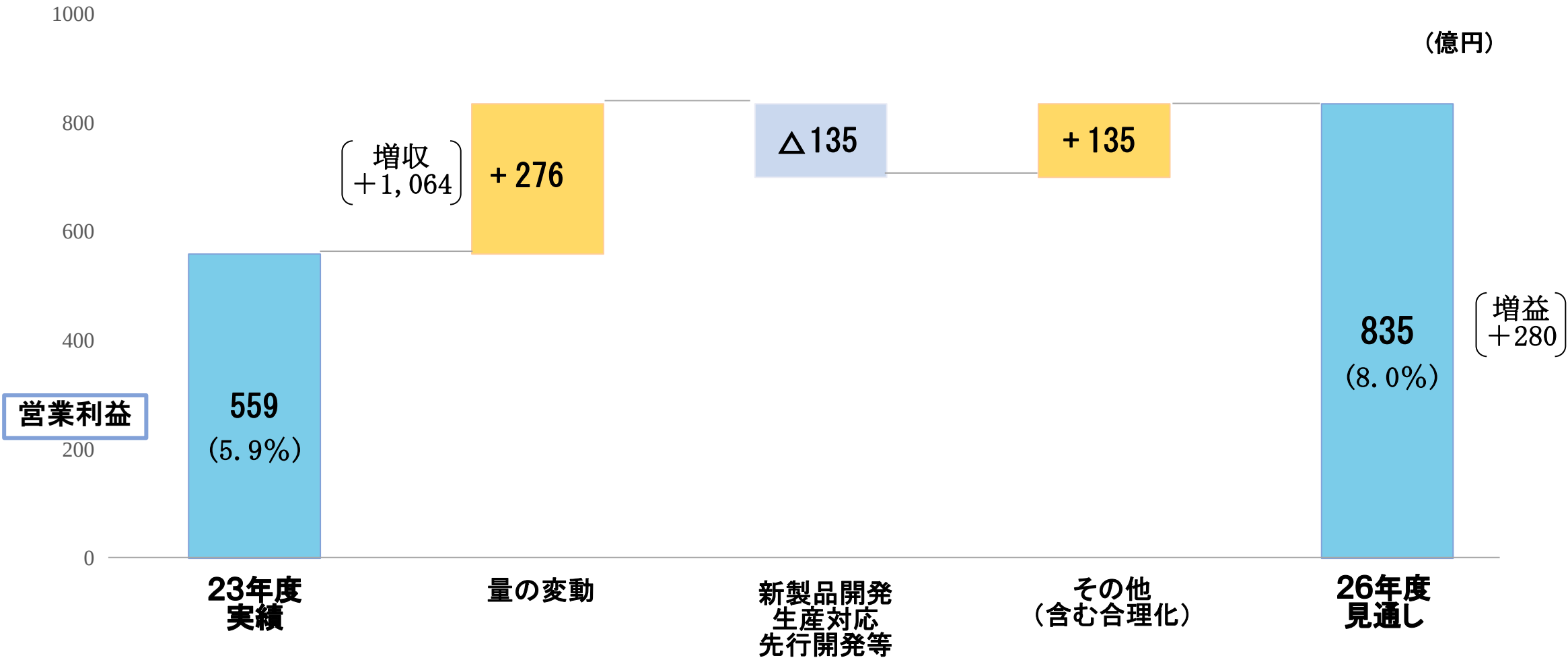
145.3円

145.0円

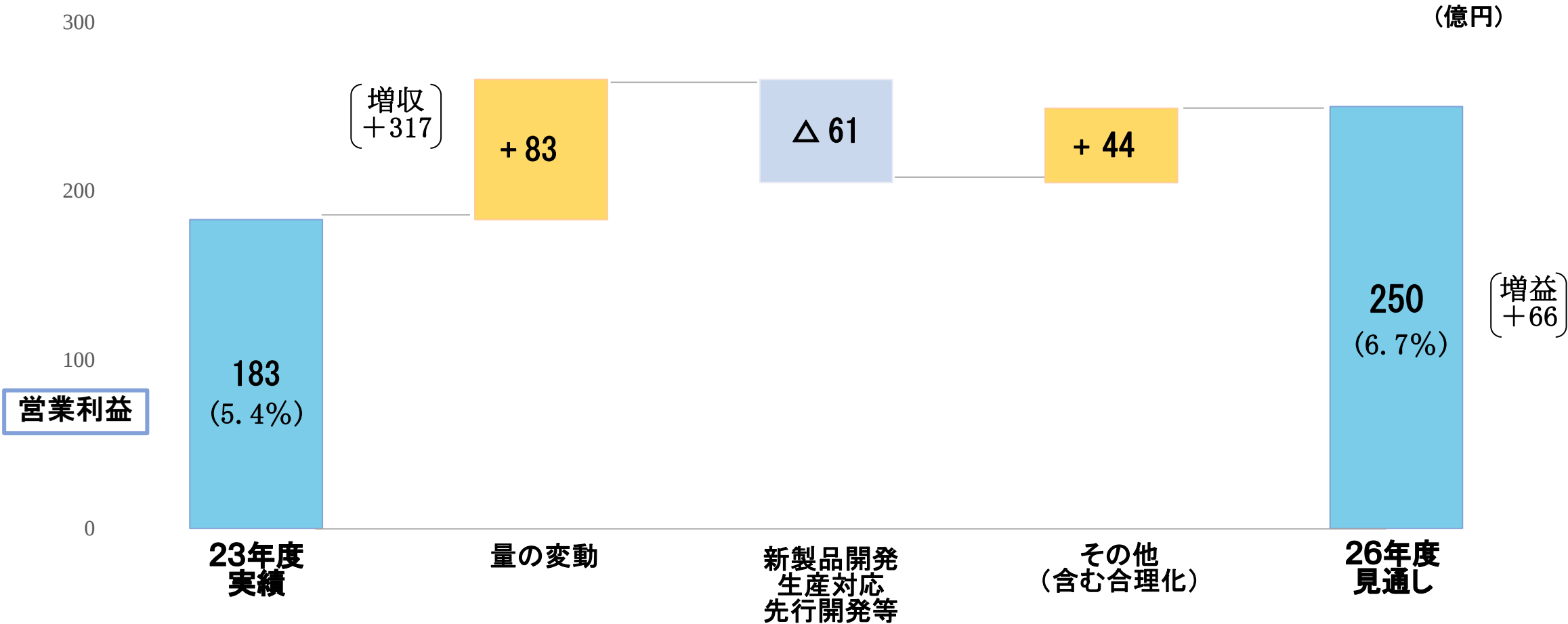
中国元

20.2円

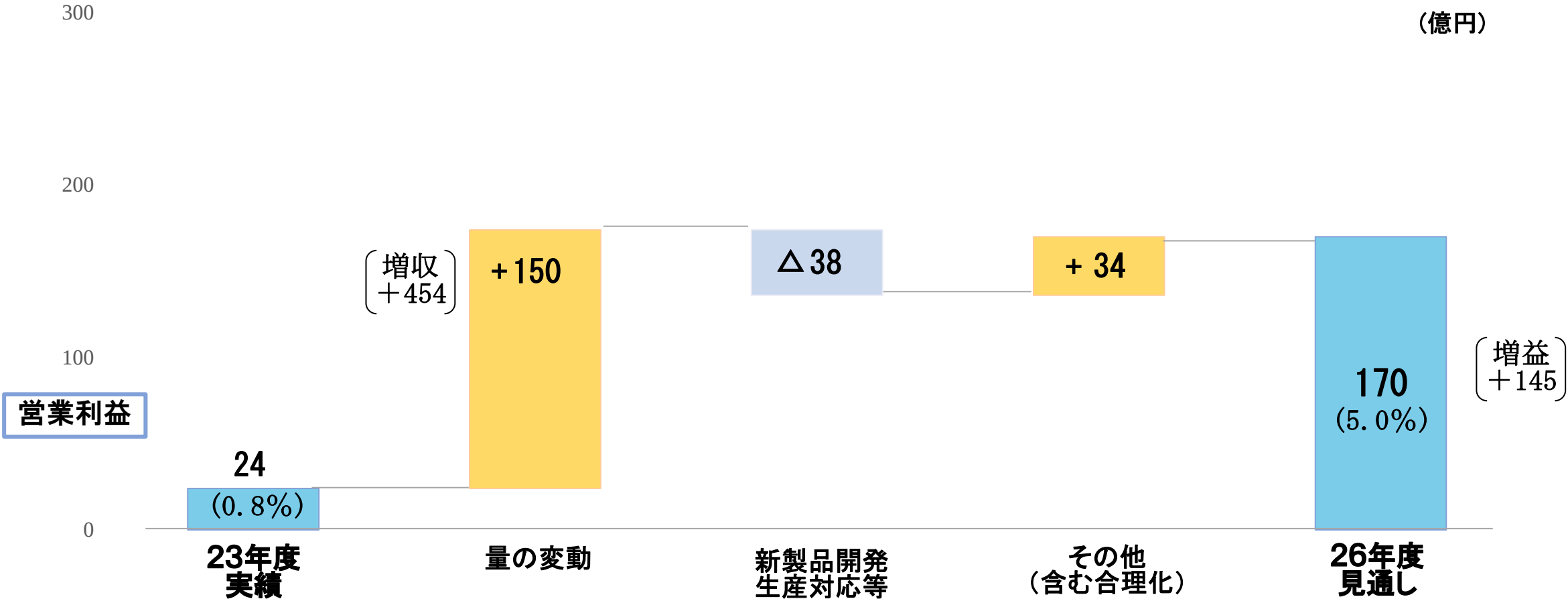
20.0円



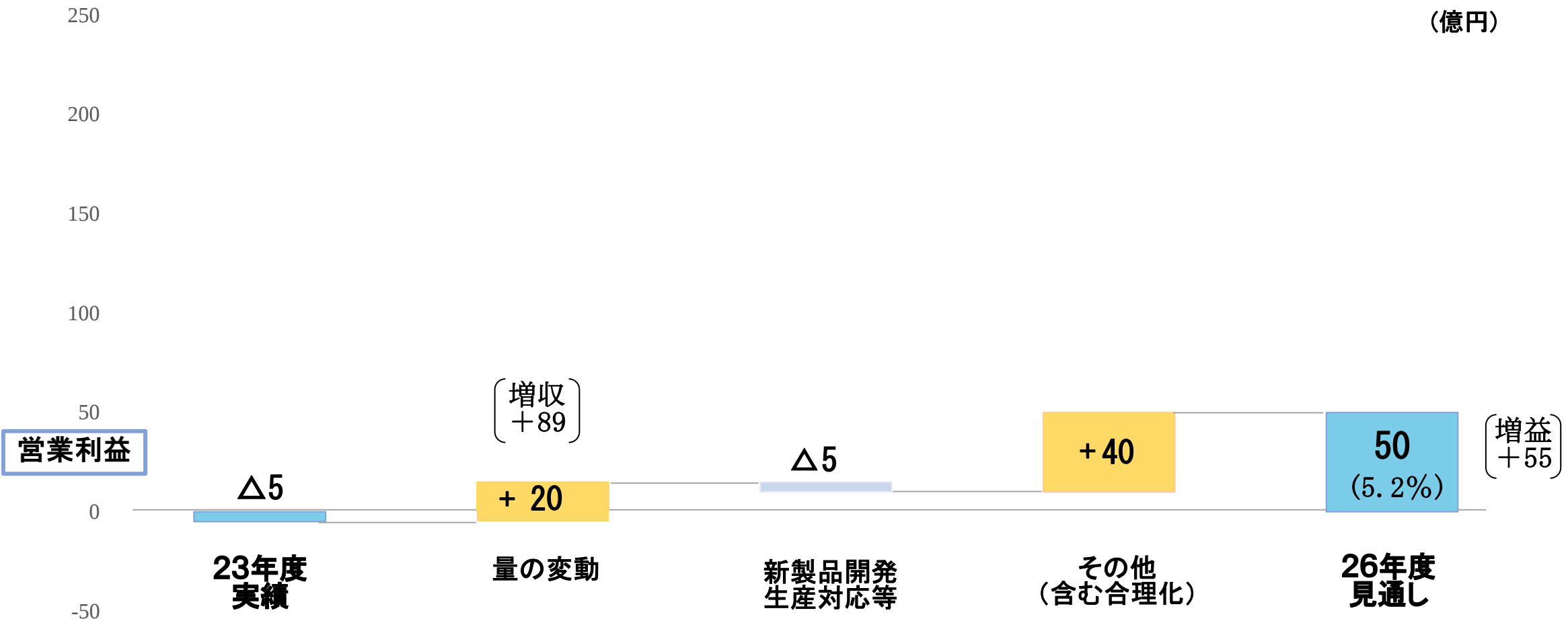
	2 3 年度実績		2 6 年度見通し		比較 (為替影響前)	
					差	指数
売上高	9,502		10,500		1,064	111
営業利益	559	5.9%	835	8.0%	280	150



	2 3 年度実績		2 6 年度見通し		比較 (為替影響前)	
					差	指数
売上高	3,412		3,730		317	109
営業利益	183	5.4%	250	6.7%	66	136



	2 3 年度実績		2 6 年度見通し		比較(為替影響前)	
					差	指数
売上高	2,943		3,395		454	115
営業利益	24	0.8%	170	5.0%	145	689



	2 3 年度実績		2 6 年度見通し		比較 (為替影響前)	
					差	指数
売上高	889		970		89	110
営業利益	△5	—	50	5.2%	55	—

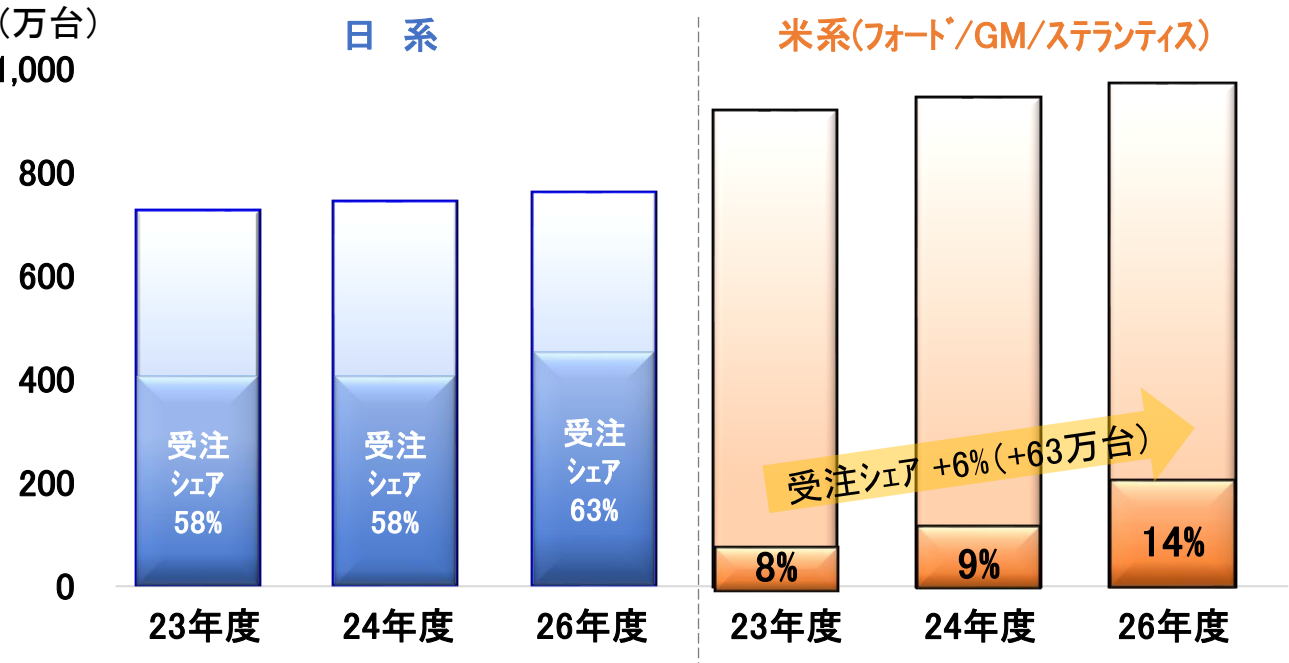
(単位:億円)

			23年度 実績	24年度	3カ年累計 (24～26年度)	摘 要
				計画		
日 本		一 般	89	146	495	自動化・無人化投資、東北新拠点对応、 CN/DX投資 等
		金 型	45	48	148	
	小 糸 製 作 所		134	194	643	
	小 糸 九 州		6	24	69	
	そ の 他		37	38	87	
	計		177	256	800	
海 外	米 州		125	196	550	メキシコ/ブラジルの工場拡張、製造工程自動化等
	欧 州		10	16	50	
	中 国		56	55	150	新商品対応(長尺ランプ等)、設備複合化等
	ア ジ ア		57	96	250	インド・グジャラート工場稼働、設備複合化等
	計		248	363	1,000	
合 計			425	619	1,800	

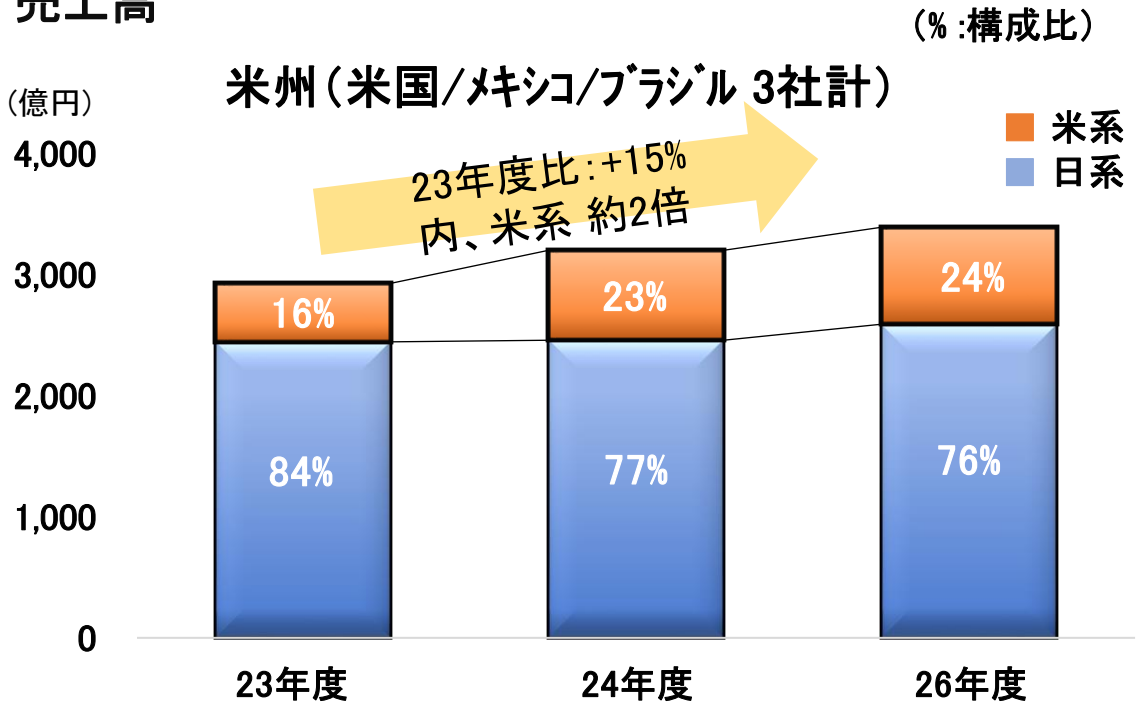
海外戦略

拡販への取り組み：①米州（北米・南米）

■ 日系/米系 生産台数予測/受注シェア



■ 売上高



市場動向/当社受注シェア

- 自動車生産台数は、北米市場での需要回復、及び南米市場の堅調な成長を背景に、**米州市場全体では緩やかな増加**を見込む。
- 日系向け受注シェアは約6割を維持する中、デトロイト3における26年度の当社受注シェアは、23年度 8%に対し、**14%**と大幅に増加。

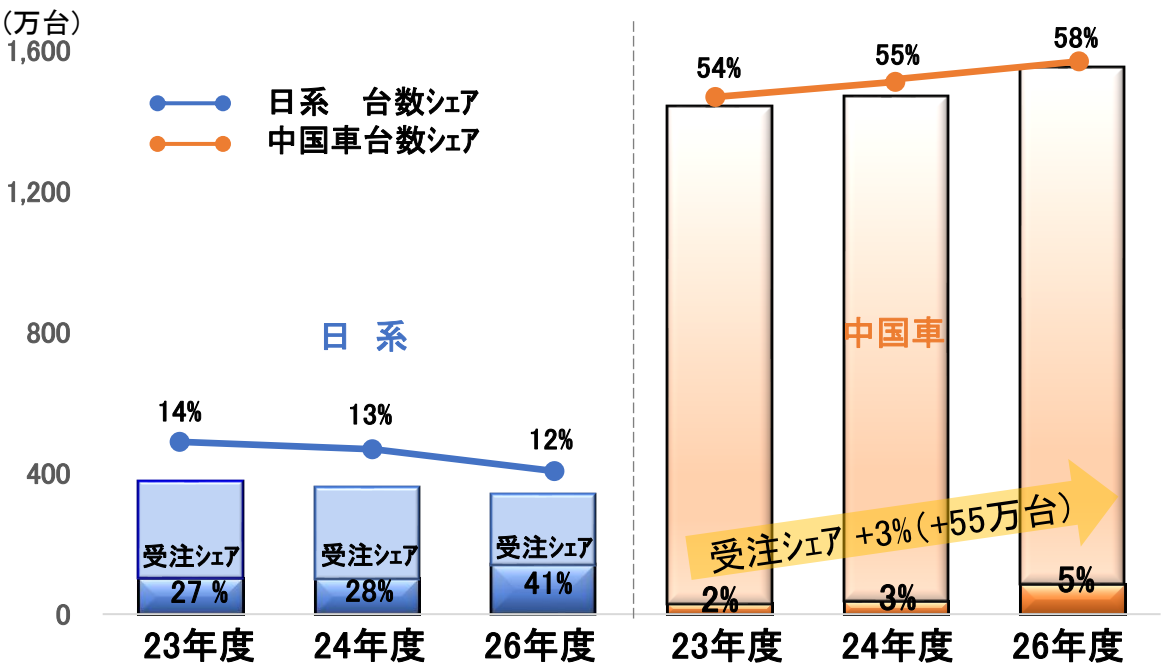
売上/受注拡大の取組み

- 新規LEDユニット等、米系への積極的な新技術提案の推進により、**フォード/GM量販車向けHLの新規受注獲得**、**26年度 米系売上は、約2倍**に増加見込み。
- 北米/南米向け生産拡充の為、**メキシコ/ブラジル各拠点の拡張**を計画、ADB等の高機能灯具拡販推進を継続、更なる売上拡大を図る。

※ADB: Adaptive Driving Beam

拡販への取り組み：②中国

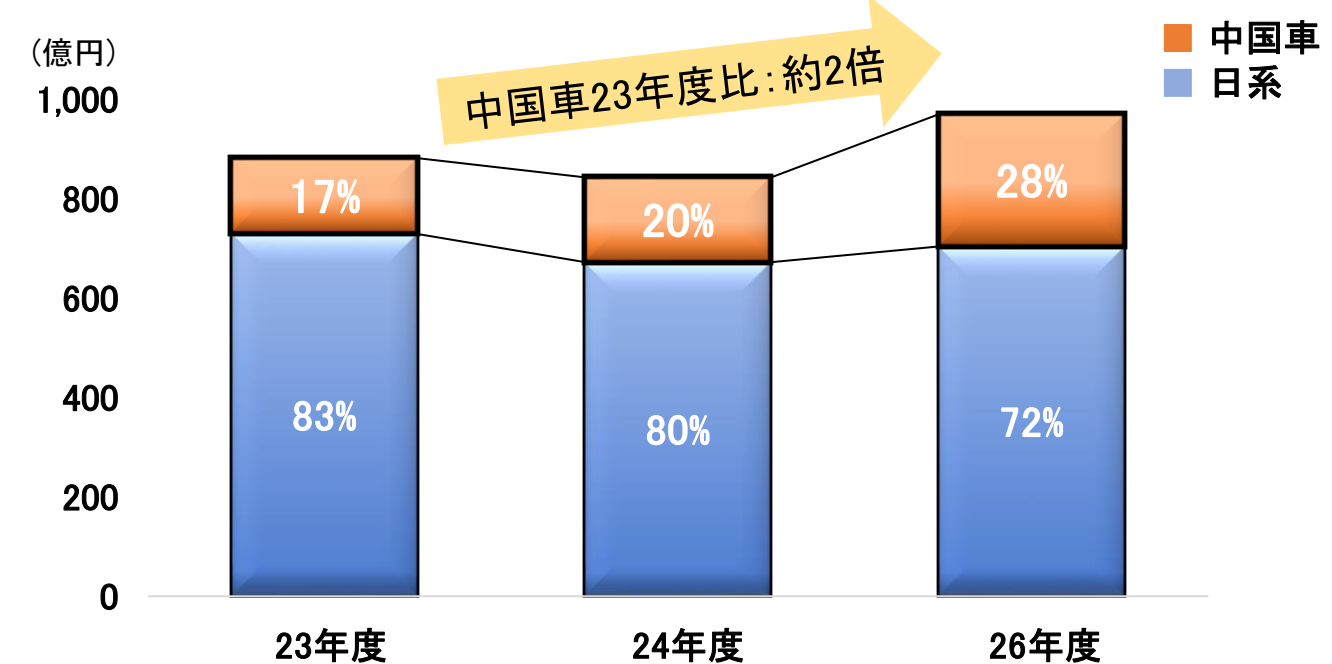
■ 日系/中国車 生産台数(乗用車)予測/受注シェア



市場動向/当社受注シェア

- 中国ローカルは、安価EV車の積極投入/ラインアップ拡充等にて、23年度台数シェアは54%と躍進、ガソリン車中心の日系は14%迄低下。24年度以降も中国車が伸長、日系は減少継続と予測。
- 26年度 日系向け受注シェアは、新規受注もあり、約4割へ伸長。中国車はBYD向け量販車新規受注により5%へ拡大。

■ 売上高

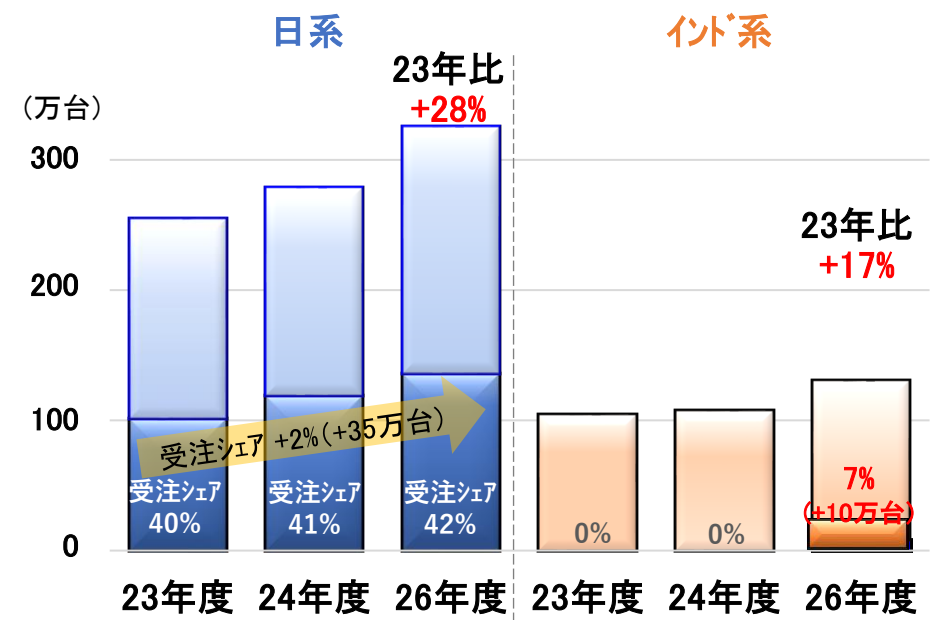


売上/受注拡大の取組み

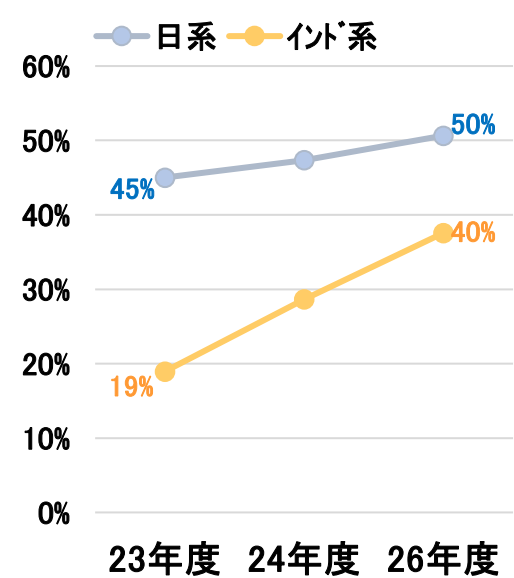
- ローカル得意先特有の短期開発(中国:12ヵ月、日系:24ヵ月)へのタイムリーな対応、並びに中国最適/安価仕様の採用促進すべく、広州技術センターを拡充、受注開発体制を強化。
- BYD/小鹏の新規受注を獲得、26年度 中国車売上は、約2倍に増加。
- 引続き中国の嗜好/ニーズ(コミュニケーション、アニメーション等)に合った新技術提案等により更なる拡大を目指す。

拡販への取り組み：③アジア(インド)

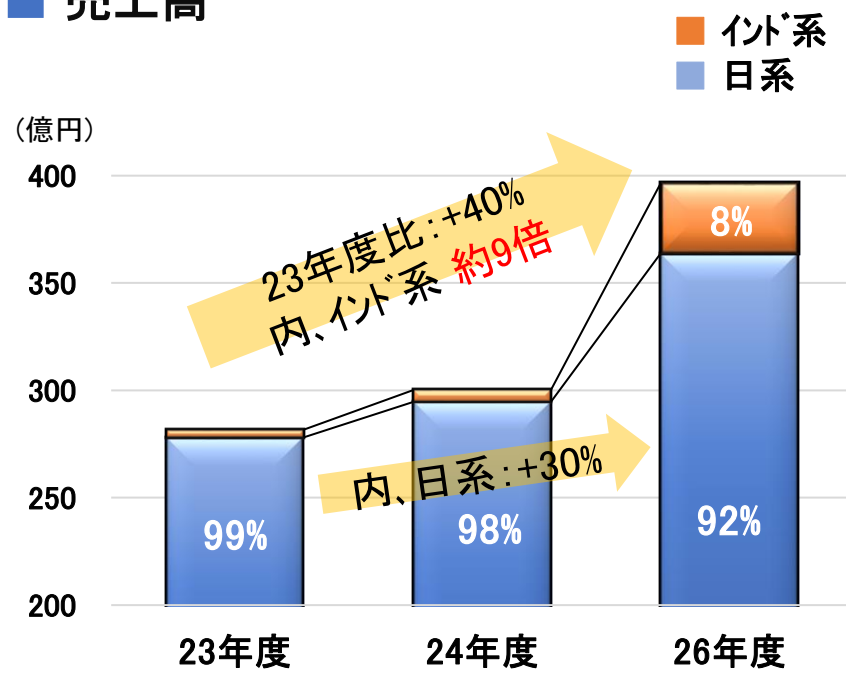
■ 日系/インド系 生産台数予測/受注シェア



■ インド市場LED-HL採用率



■ 売上高



市場動向/当社受注シェア

- インド生産台数は、2年連続過去最高を更新。トップシェアのスズキを中心に日系が伸長、加えてインド系メーカーも積極的な能増/新車投入により、26年度には日・印共に23年度比2桁成長と予測。
- 受注シェアは、
 日系：大幅な市場拡大の中、新規受注もあり、4割以上を維持。
 インド系：LED化進展の中、タタ向新規受注により、26年度7%へ拡大。

売上/受注拡大の取組み

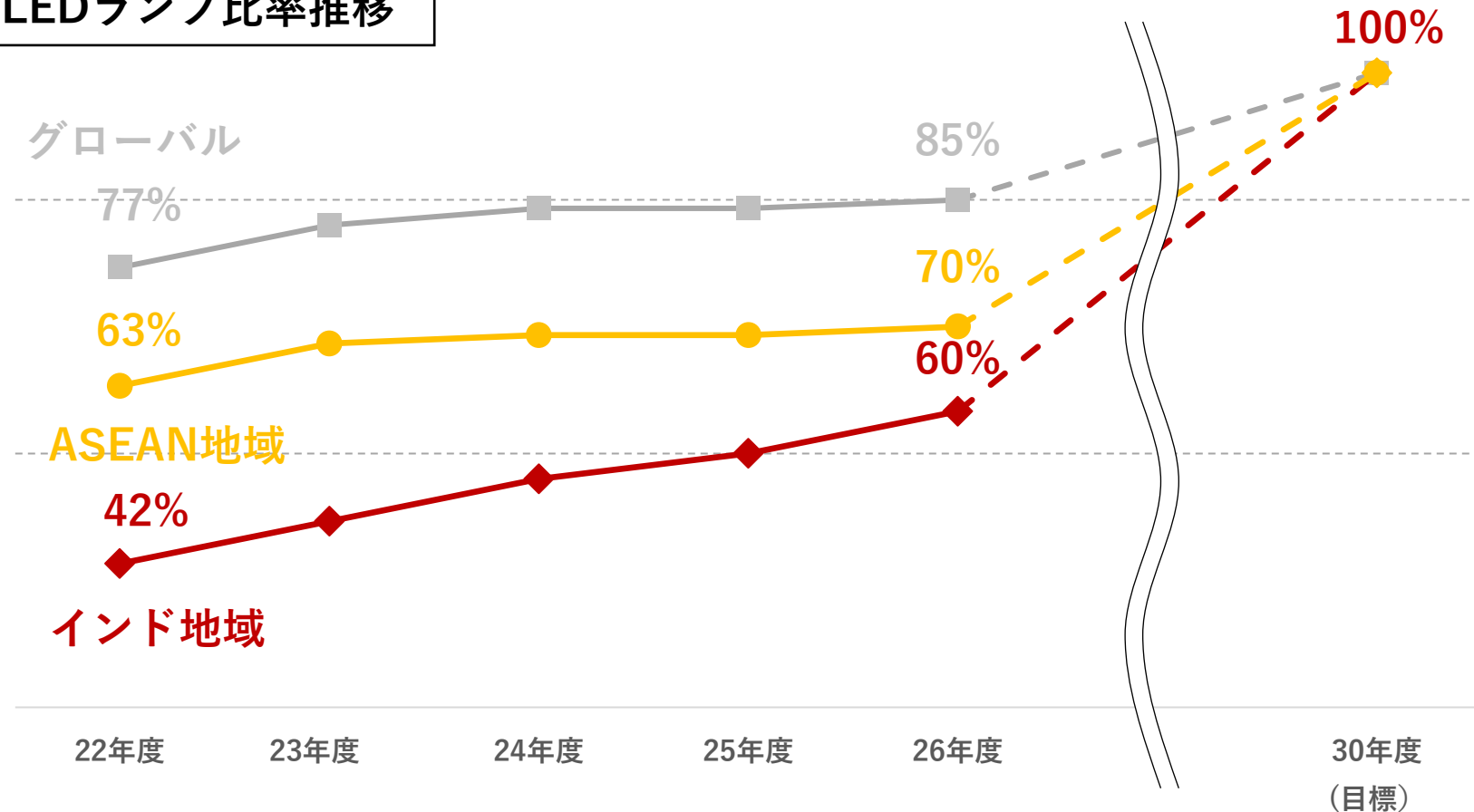
- LEDユニットラインナップ拡充/現調化PRにより、タタ等の新規受注を獲得、26年度インド系売上は9倍に拡大見込み。日系向は、更なる高付加価値ランプ(ADB、長尺ランプ等)拡販展開中。
- 24年3月グジャラート新工場を稼働、西部地区得意先能増(スズキ、タタ)への対応と共に、仕様トレンドに対応した最新鋭設備導入を実施、更なる売上拡大を図る。

營業戰略

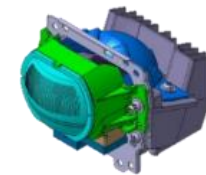
LEDランプの拡販動向

- 22年度LED装着比率は77%、日本/北米/中国での装着率は9割超。
 今後は、ASEAN地域(装着率:63%)、及び インド地域(装着率:42%)を中心に、次世代Biユニット(26年度)での拡販を目指す。

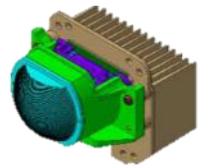
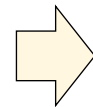
LEDランプ比率推移



LED標準ユニットの進化により、
コスト低減を実現



現行ユニット
(20年度)

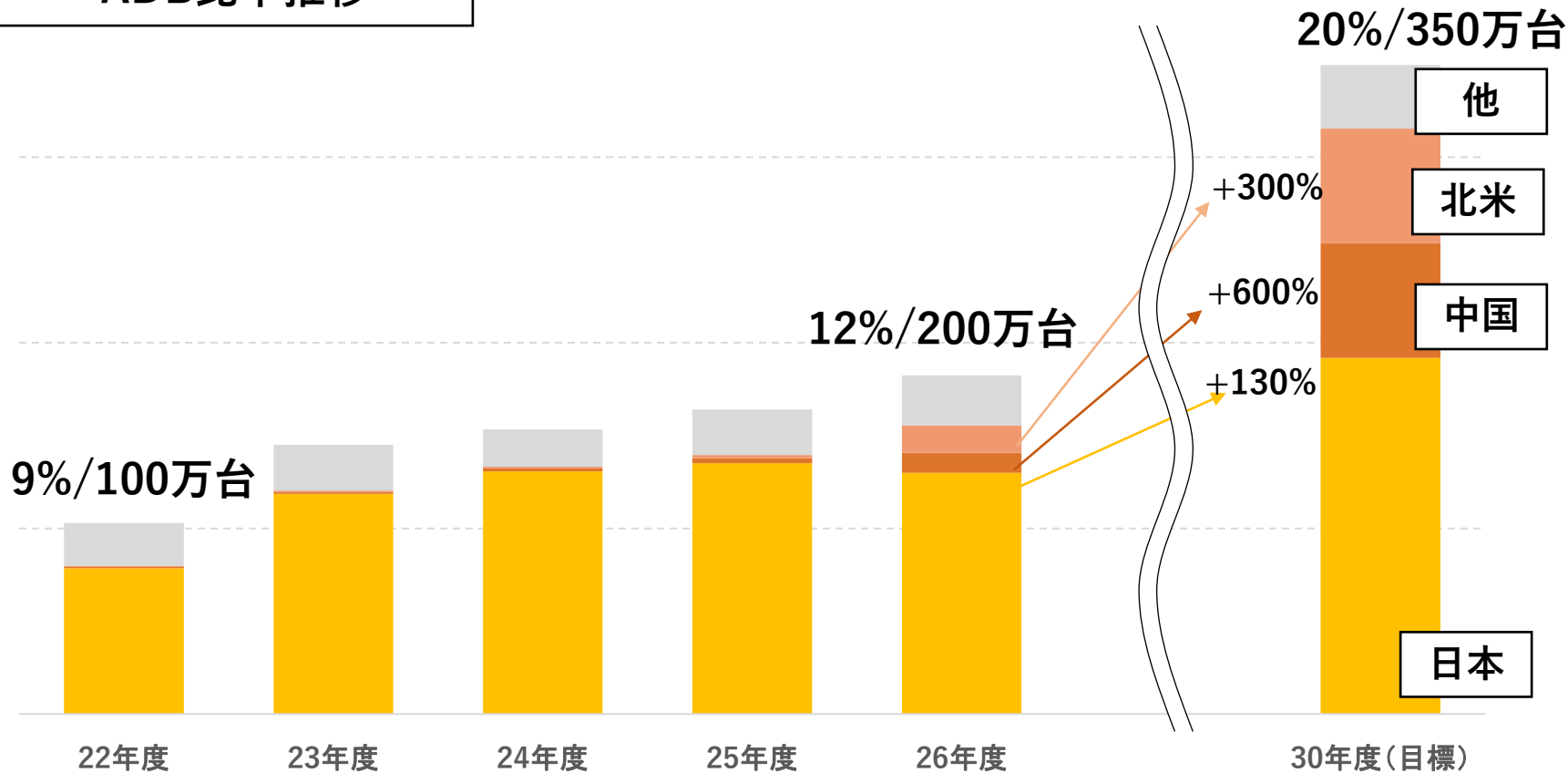


次世代ユニット
(26年度)

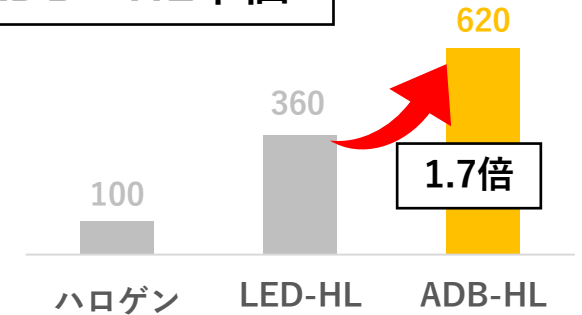
ADBの拡販動向

- 22年度ADB装着比率は9%、26年までは主に日本を中心に拡販。
以降、北米/中国を中心に拡大見込み。
単価は通常のLED-HLの1.7倍。

ADB比率推移



ADB - HL単価

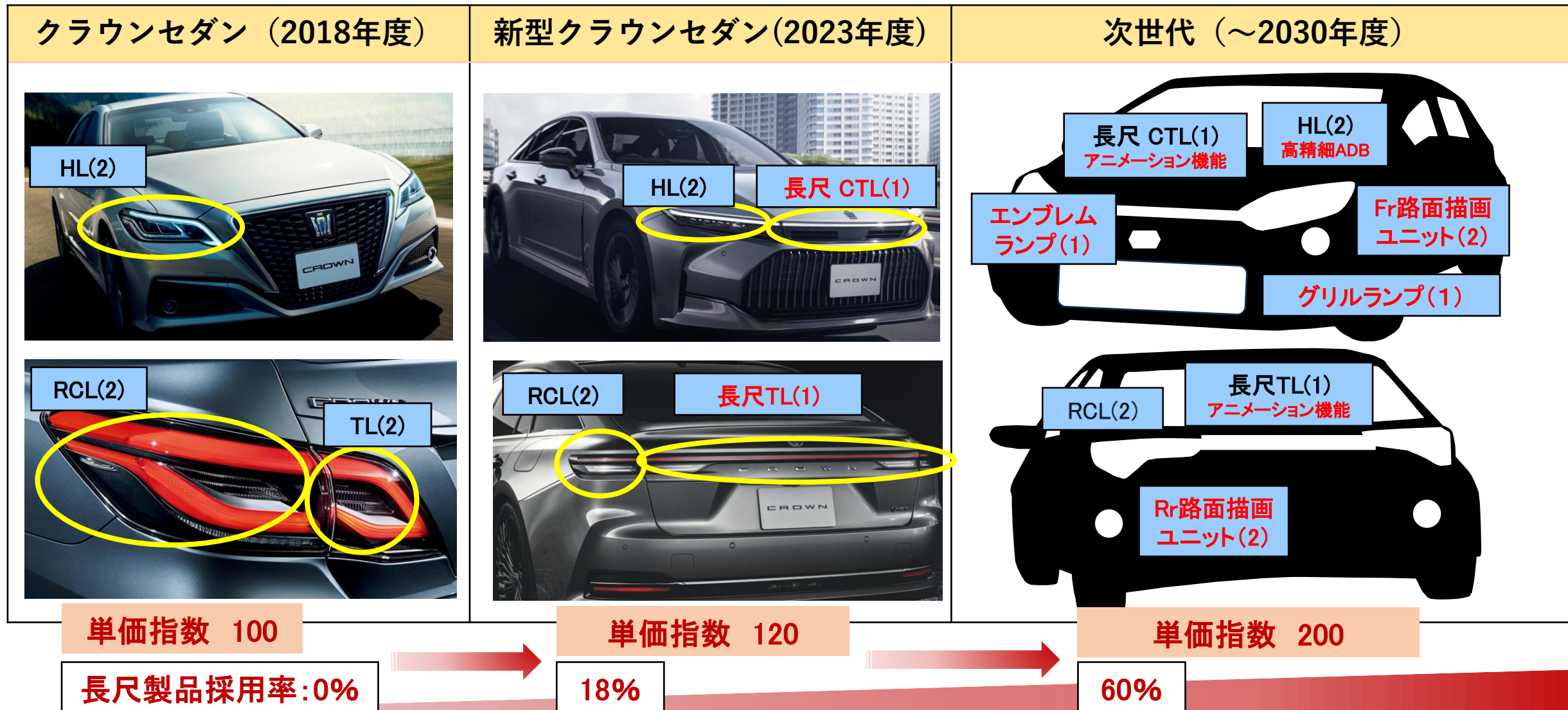


ADB拡販

- ・米国向: 25年度に投入
各得意先は、26年度後半以降
次世代Lo一体ADBを
本格採用見込み
- ・中国向: 24年よりC-NCAP※
にてADB配点比率が上昇。
今後の開発車にて採用拡大見込み
(※) 中国自動車技術研究センターが
新車を対象に安全機能テストを
実施、結果を星数(最大5つ星+)
でランク付して公表

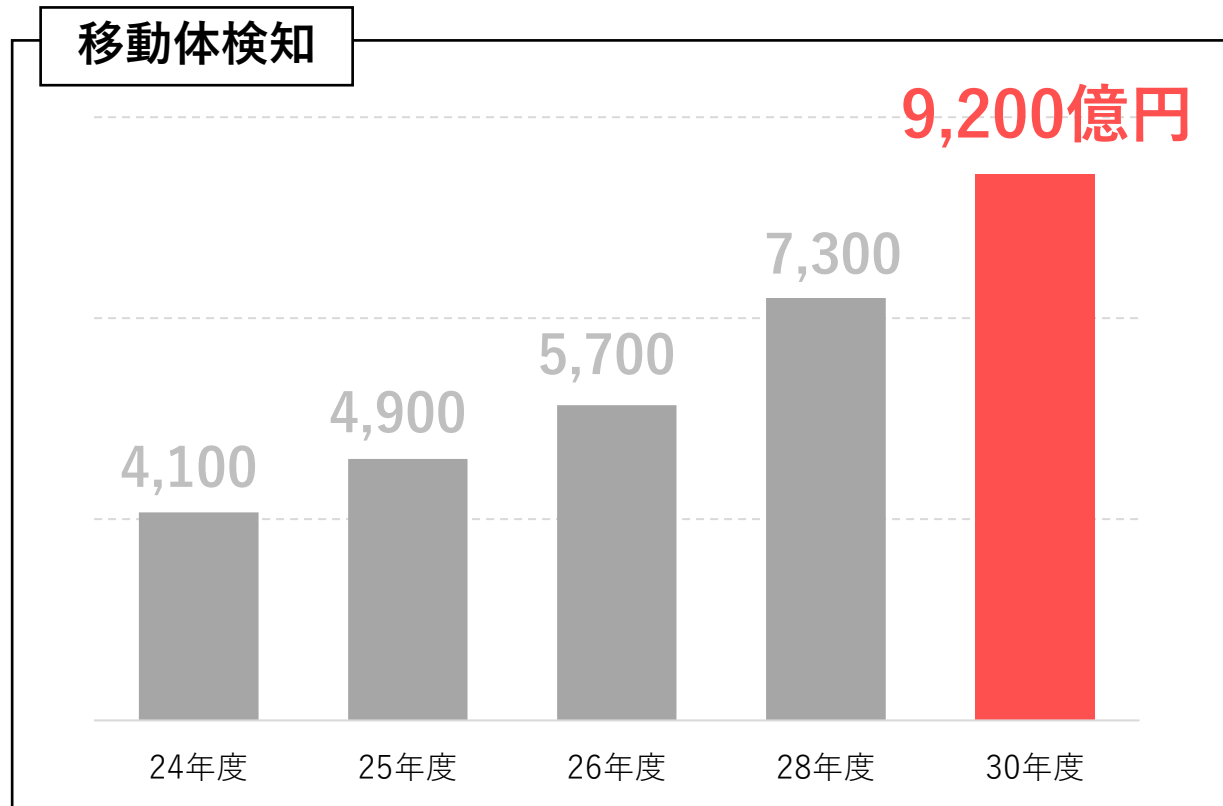
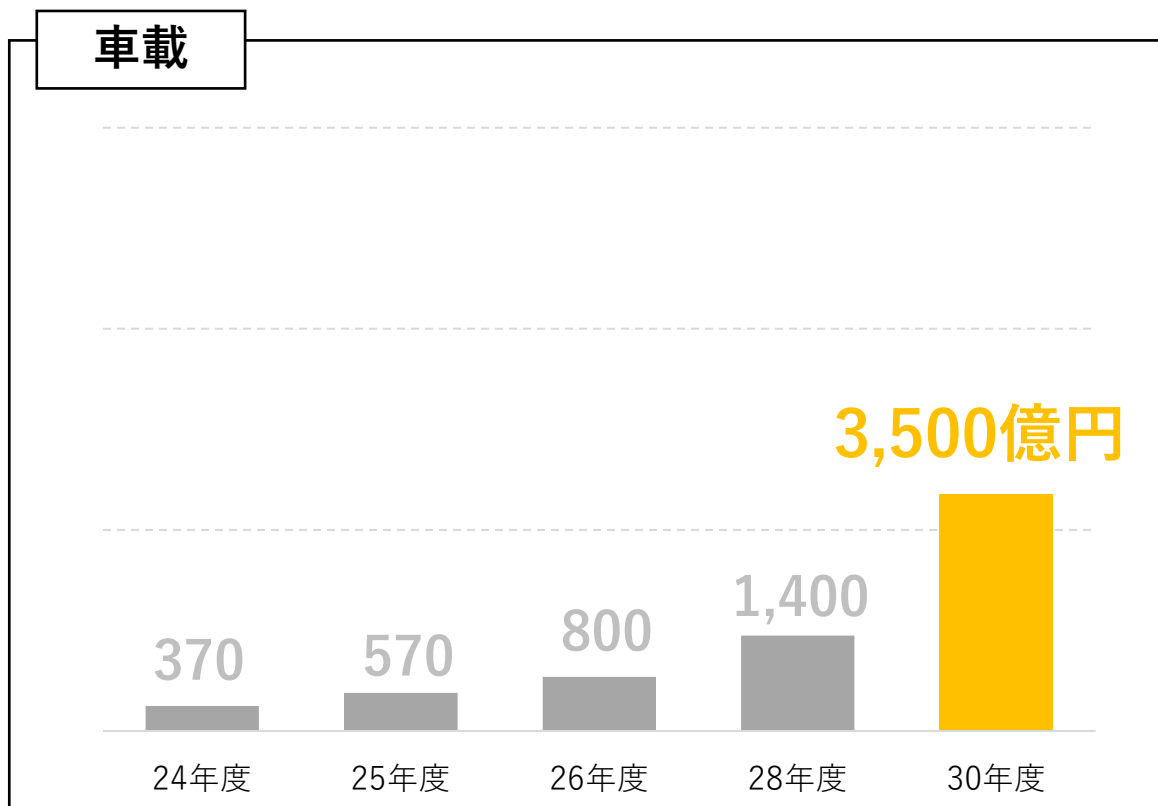
新規アイテムの採用により台当たり販価の推移

得意先はデザイントレンドに基づきTL(テールランプ)の長尺化、CTL(センターランプ)を新規追加、台当たり販価は上昇。今後 当社の技術優位性を活かし、更なる販価拡大を実現する。 * ()内は自動車1台あたりの搭載個数



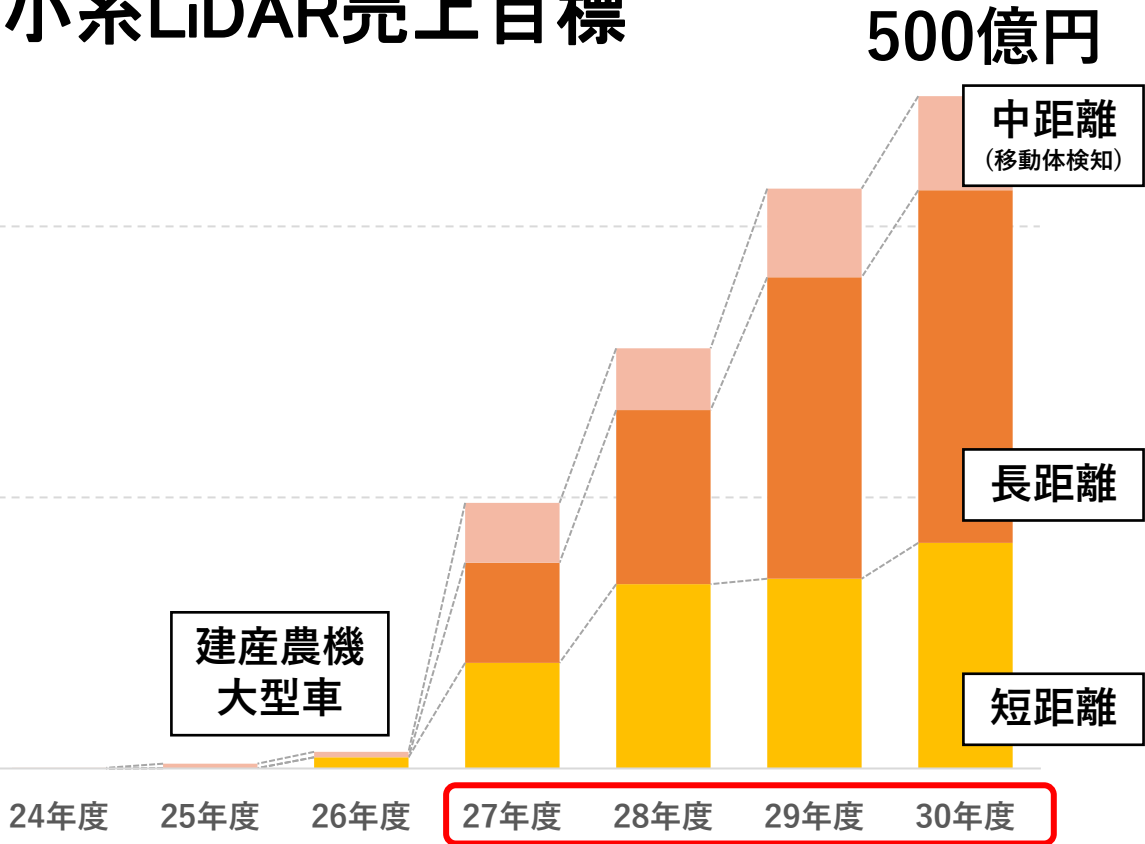
- 車載用LiDAR市場は24年度:370億円。高度ADAS/自動運転車にはLiDAR搭載が必須の為、30年度には3,500億円まで拡大すると予測。
(ソナー:検知距離1m程度/ミリ波:小さな物体検知不可/カメラ:検知距離100m程度の為代用不可)
- ・移動体検知市場は、3Dマップ作製やAIカメラとの併用/切替により、30年度:9,200億円と予測。

LiDAR市場規模(億円)



- 小糸LiDARの技術的優位性、及び バリエーション展開(短/長/中距離)により受注拡大を目指す。
複数得意先(乗用車/大型車/建産農機等)の受注決定、引合いを受領しており、
既に量産体制の整った当社LiDARに対する期待は非常に高い。
- ・LiDAR事業は数量の拡大する28年度以降黒字化の見込み。

小糸LiDAR売上目標



製品区分	ニーズ（上段）・当社の強み（下段）
短距離 	大型車/建産農機の自動運転（周辺検知） 広い縦方向の検知範囲を実現
長距離 	乗用車／大型車等高速運転時の前方検知 光源・光学一体設計によりサイズ最小化、 車室内搭載性を実現
中距離 	移動体検知 移動体検知システム（ハード・ソフト） によりお客様のきめ細かいニーズに対応

生産ライン自動化の取り組み

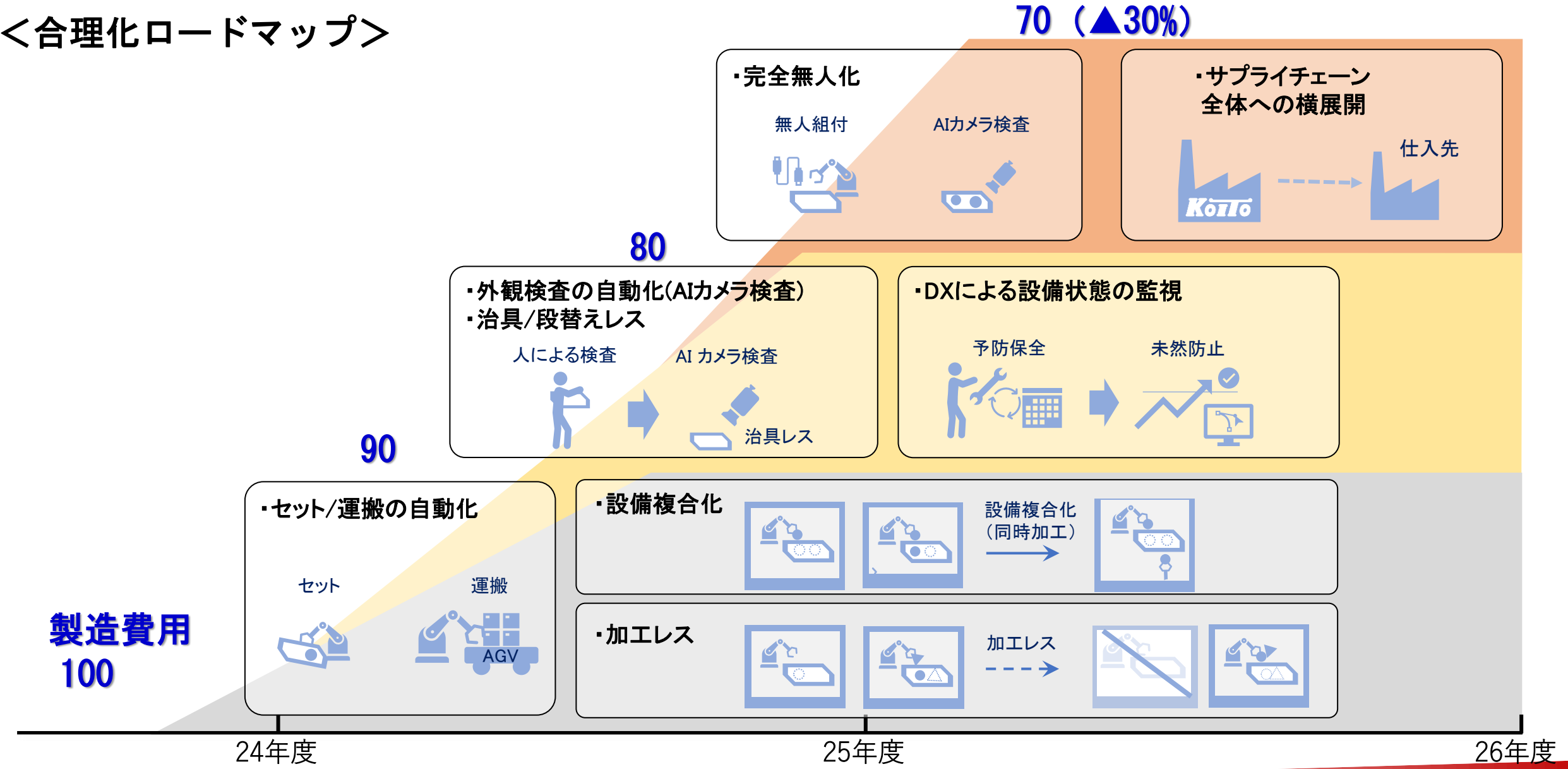
生産ラインの自動化等、デジタル技術の活用による『ものづくりの革新的な見直し』を推進

製造費用30%低減を実現 【自動化/デジタル化/レス化】

部 品		組 立	物 流
予防保全 AI カメラ検査		トレーサビリティ 加工レス 無人組立	センサー 出荷情報 AGV 自動倉庫
自動化/ デジタル化	AIカメラでの良否判定/予防保全	完全無人化/品質トレーサビリティ強化	自動搬入/出荷倉庫
レス化	加工レス・段替レス	加工レス・治具レス・段替レス	最短搬送

<合理化ロードマップ>

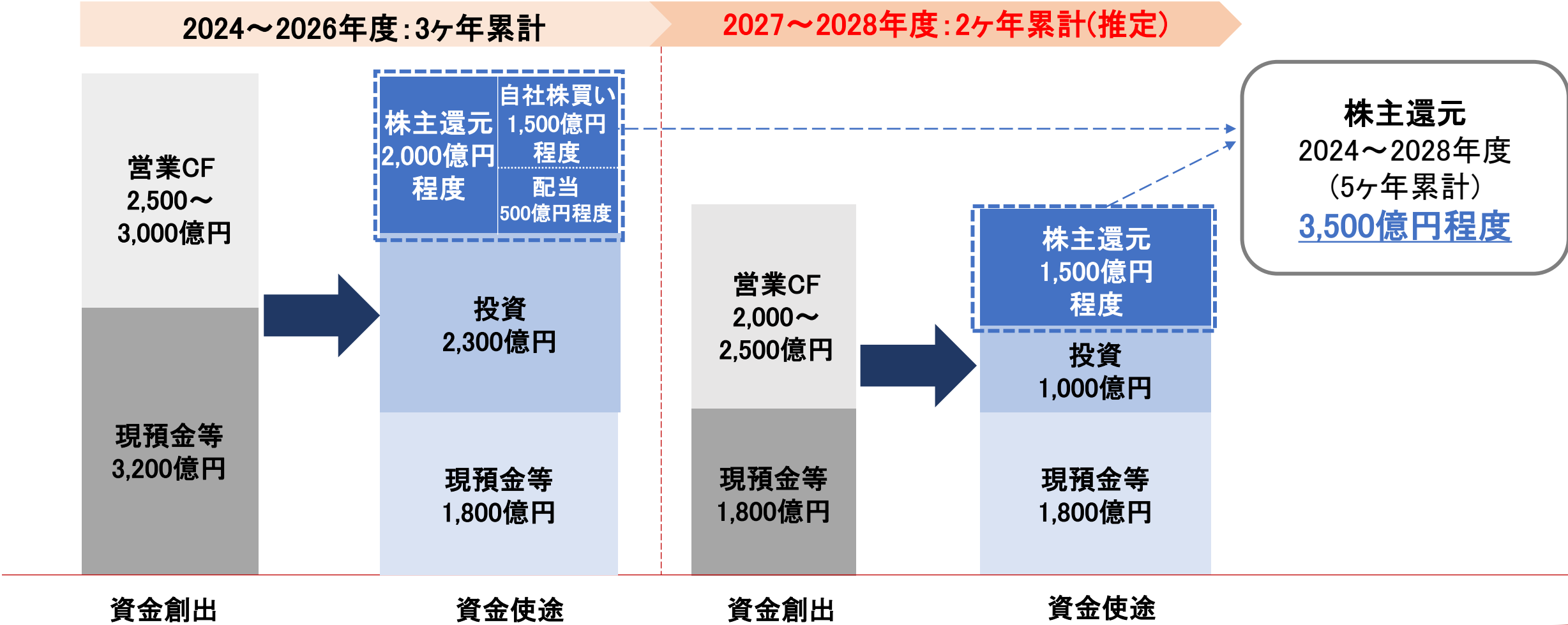
製造費用
100



財務戦略

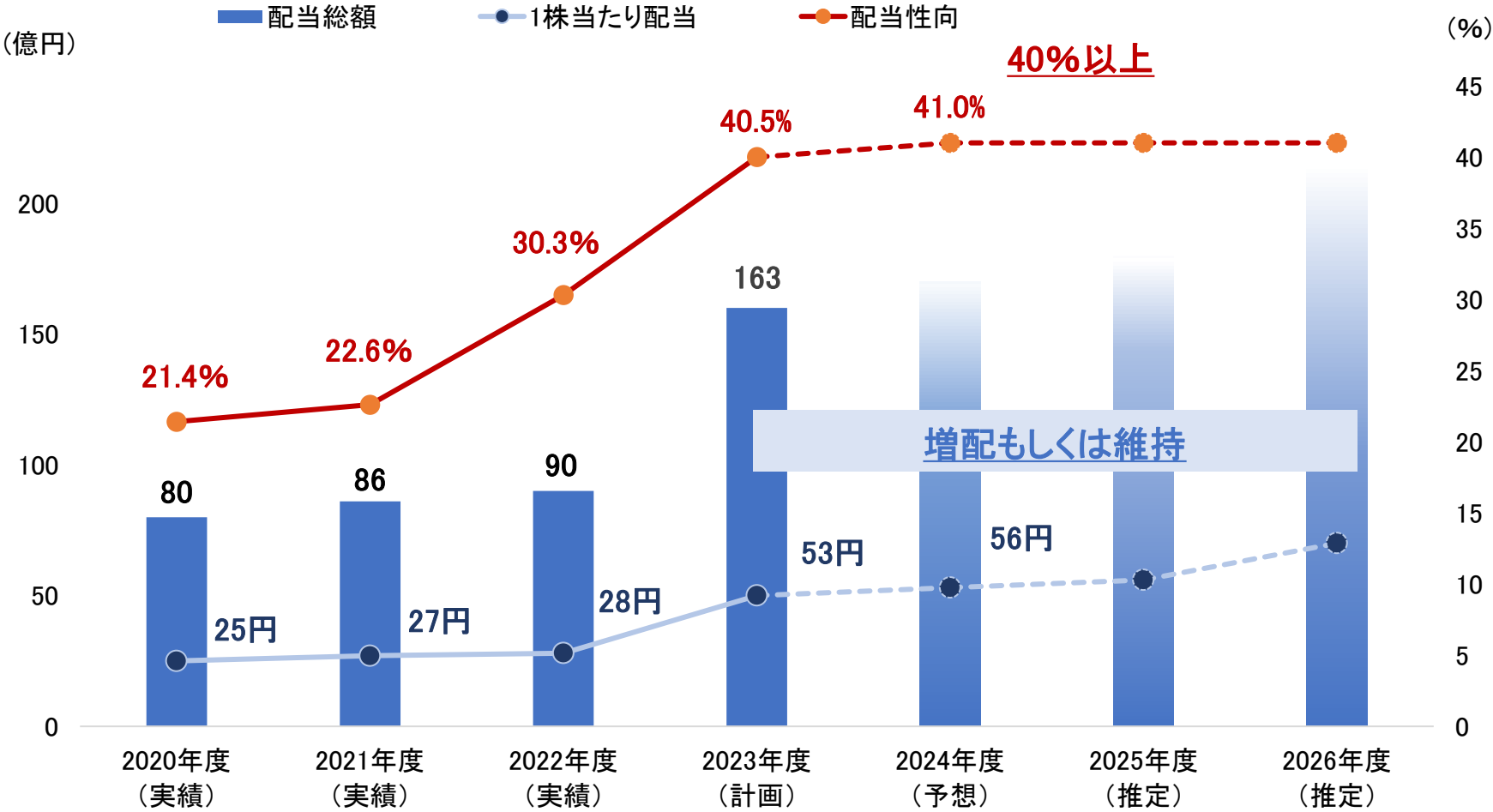
<基本方針>

- ① 財務健全性を確保したうえで、積極的な投資を実施
- ② 資本構成適正化に向けた自己株式取得、及び配当水準の安定的向上による株主還元を実施



＜基本方針＞

連結配当性向 40%以上、かつ増配もしくは配当維持を基本方針とする



* 2023年度の期末配当は2024年6月の株主総会に提案予定

本資料に記載されている小糸製作所、及び関係会社の計画や業績に関する予想、及び見通しの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断し仮定した見込みです。また、経済動向、自動車産業界における激しい競争、市場動向、為替レート、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性も含んでいるため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることを、ご承知おき願います。